

“ひとりじゃない”を地域でつくる。～地域の見守り活動紹介～

地域の中では、民生委員・児童委員や福祉委員、自治会など、色々な方々が協力して、見守り活動を行っています。今回は、福井市郊外の民生委員さん、福祉委員さんに地域の見守り活動についてお聞きしました。

Q どんな風に見守り活動をしていますか？

A 一人暮らしの高齢者宅に自治会型デイホームのお便りを配りながらデイホームにお誘いしたり、気になる方がいたら民生委員・福祉委員と一緒に様子を見に行っています。一人で活動するのは大変なので、お互いに連絡を取り合って協力しながら活動しています。



Q 活動の中で、どんなときに喜びを感じますか？

A 外出が難しい方も、お届けしたお便りに載っているクイズを楽しみにしておられ、電話でお礼を伝えてくれることもあります。声かけすることが地域とつながるきっかけになっているのだと思うと、嬉しい気持ちになります。



Q 活動の中で大切にしていることは？

A 民生委員・福祉委員だけでなく、自治会長さんや地域の住民皆で協力していくことが大切だと思っています。最近は、自治会長さんが役員会で地域の見守りを呼びかけてくださり、役員さんが気になる方を教えてくれるなど、皆で地域を見守る雰囲気生まれています。これからも地域のチームワークを高めていくことで、皆で支え合える地域になってほしいと思います。

“あったかメッセージ”のご紹介 ～この言葉が、活動を続ける理由です～

定期的に訪問してくださり、色々な情報を持ってきてくれるので、とても嬉しく思っています。一人暮らしでも声をかけてもらえることが、本当にありがたいです。

(春山地区)

最近は若い方(40代、50代)が福祉委員さんになられて、デイホームの日は午後仕事を調整して活動してくれていることに、感謝しています。毎回デイホームに参加して、若返っています。

(東藤島地区)

デイホームでは町内の皆さんにお会いできるので、楽しみにしています。地区社協のメッセージを届けてくれる際の温かい声かけも嬉しく思います。

(鷹巣地区)

市社協では、見守り活動者へのエールや励みとなるメッセージを募集しています。ぜひ、右記の二次元コードからメッセージをお寄せください。

いただいたメッセージは、市社協ホームページ等で随時ご紹介させていただきます。

メッセージはこちら▶



雪かきボランティア活動を実施しました

当会ボランティアセンターでは、身体の障がいなどにより自力での雪かきが難しい方を支援する「雪かきボランティア」の活動を行っています。

今年も1月後半にまとまった降雪があり、市内の障がいのある方のお宅を中心に7件で延べ11名のボランティアが活動しました(2月13日現在)。

活動者からは「少しでも力になればと思い応募した。役に立てたなら嬉しい」「地域には身体が不自由なことで雪かきに困っている人がいることを初めて知った」といった声が寄せられました。

地域の中には、困っていても「助けて」と言えない人や、孤立してしまう方もいるかもしれません。ボランティアだけでは支えきれない場面もあります。ぜひ、ご近所での雪かきや見守り、日頃の声かけなど、地域での支え合いにご協力をお願いします。

令和8年度ボランティア活動保険の受付が始まりました!

ボランティア活動中の自身のケガや損害賠償責任を補償する保険です。加入申込の際は、市社協ボランティアセンター窓口までお越しください。

問合せ 市社協ボランティアセンター TEL 0776-22-0022 (直通)

詳しくはこちら▶



仲間と笑顔で楽しみながら活動!!